



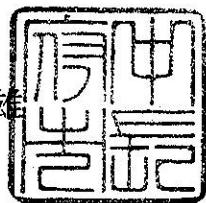
26府政広陳収第10号の2

平成26年8月27日

自然エネルギーを考える会

会長 宮井迅吉様

府中市長 高野律雄



新エネルギーモデル建築の整備・見える化事業に関する陳情書について、回答いたします。

本市では、これまで、公共施設の新築・改築時にあわせて、太陽光発電設備等の設置による再生可能エネルギーの有効活用に努めてきました。今後も、設備等の設置により自ら使用する電力の削減を第一に進めていくべきと考えておりますが、設備等の設置には、資金面の課題のほかに設置場所の課題がございます。

現在、本市が新築・改築を実施または計画している公共施設としましては、押立文化センターの改築、新給食センターの新築、新市庁舎の建替え等がございます。このうち、押立文化センターでは、太陽光発電設備の導入を予定しており、新給食センターにおいても、太陽光発電設備や高効率給湯器等の環境配慮型設備の設置を検討しております。両施設とも、来館者に発電効率等をご覧いただけるよう「見える化」を図ってまいりますが、施設の用途的に市内全域から隨時来館者が望めるものではないと考えております。また、既存の公共施設におきましても、今後、老朽化や施設の用途等の観点から計画的保全を行うこととしておりますが、耐久性や防水面の課題、長期間の設備設置に対応できることを考慮しますと、既存施設への設置は難しいものと考えております。なお、未利用公共用地の活用につきましては、効率の面か

ら、比較的広大な土地で大規模に実施することが必要であると認識しておりますが、本市には大規模な未利用地がないことから、活用は難しいものと考えております。

これらの状況を踏まえますと、第2次府中市環境基本計画に掲げております、新エネルギーモデル建築の整備及び「見える化」の推進にあたりましては、現段階では、新市庁舎の建築が直近の事例になると考えております。

今後は、ご提案いただきました住民参加型市債の活用を含め、財源確保策のひとつとして、市民の皆様のご協力が得られるような手法につきましても検討するとともに、新たな手法の研究や補助金の活用、組織の整備等により、再生可能エネルギーの導入促進、省エネルギーの推進をはじめとする地球温暖化対策の推進を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解並びにご協力くださいますようお願ひいたします。